

## 再編等基準の検討について

### 1 基本的な考え方

「行きたいと思える魅力ある学校」が通学可能範囲に存在し、生徒一人一人の可能性を最大化する教育環境を構築

- ・各地域に一定の学校規模を維持する高校を配置し、教育の質と多様性、さらには学校規模の多様性を確保
- ・地域唯一の高校をはじめとする各校の特色ある学びを生かし、市町村等との連携・協働により、地域全体で魅力化と持続可能な教育環境の構築を推進
- ・拠点校と小規模校を一体的に捉え、生徒が望む学び方に応じた選択肢を確保し、探究活動や部活動の共同実施等により、双方の利点を活かした学びを実現

### 2 再編等基準【例】 ※1学級は40人を基本として考える

#### (1) 地域の拠点校

- ・地域（県西部・南部）の核となる学校を選定し、全学科を合わせて1学年4学級以上の維持を目指す

#### (2) 再編基準 ※分校を含む

- ・入学者数が複数年連続して、学年全体（全学科合計）で2学級を維持できない（40人以下） → 募集停止または再編推進

（職業系の専門高校\*については、別途基準を定める）

- \* 職業系の専門高校・・・農業、工業、商業、水産、家庭（食物・生活文化）、看護、福祉科を有し、普通科系学科が併設されていない高校

#### (3) 魅力化推進校（仮称） ※分校を含む

- ・市町村唯一の高校で、地域から学校存続のために必要と思われる支援が得られる場合、「魅力化推進校」に認定できる
- ・入学者数が複数年連続して、学年全体（全学科合計）で一定数（別途定める基準）を下回る → 募集停止または再編推進を検討

（職業系の専門高校については、別途基準を定める）

※上記基準については、他県事例をもとに作成